



■サーフボードはリビングのキーアイテム。ヴィンテージ加工した板張りの壁とテークの床が、Y邸にカリフォルニアの風を運んでいます

ハウスデータ

設計・施工：クローバーハウス
構造：工法：木造軸組工法
敷地面積：95.50m² [38.8坪]
延べ面積：124.20m² [37.57坪]
(1階 67.07m²、2階 57.13m²)
施工期間：約6ヶ月
竣工：2019年9月



■勾配天井の吹き抜けリビングは最上の居心地。TV背面のレンガやロフトのアメリカンフェンスも使ったかったアイテム。より良い様にカバードポーチ、そして上げ下げ室。大好きなアメリカンスタイルの外観。シースクローグにはスニーカーが隠れていりご主人のコレクションが見えて、洗面はキッチンヒューリッジネルしたサブウェイタイルで造作。一つの小物や調度も意味した。洗面はキャラクターデザインされている

■施主さんに
聞きました。



夫・妻+長女・次女
+三女

▼ この会社に決めた理由は？

「クローバーハウス」さんで建てた友人にから評判は聞いていました。決め手は、好みのデザインを別にして、それぞれうな感じでしたこと、人柄です！

▼ 新築したきっかけは？

実家で同居していましたが、子どもも増え、次第に手狭で、母屋を一部解体して大きめのスペースに、自分たち好みのデザインで新築することに。

▼ 読者へひと言

細かすぎるかな？と思うことも、希望を包み隠さず伝えられ、想像以上の提案をしてくれることも。「とりあえず言ってみる」は大事です。

どこまでも西海岸テイスト！ 夢だったサーフスタイルの家

Case
・
新築
[横浜市Y邸]

自然の風を感じるカバード白
ボーチには、サーフボードとハンモック。マリンブルーの玄関ドアを入れれば、お気軽に入りブランドのロンハーマンをイメージしたインテリア。アーノップやスイフチブレートの細部にいたるまで、Y邸はおおらかで自由な西海岸のテイストに包まれている。

「サーファーズハウスを建てたかった」と語すY夫妻。実績のある地元工務店が見つからぬ中、自分たちの好みに共感して形にしてくれる「クローバーハウス」に依頼することに。結果的に、その選択は大正解だった。Y夫妻曰く、「タセが強い要望の数字をセンスよくまとめて、インテリアや小物選びもしっかりサポート。毎週重ねた打ち合わせは数か月に及び、終わってみれば寂しさを感じるほど楽しかった」とか。最高の形で夢を実現した新居で、家族5人の笑顔あふれる生活がスタートする。